

コロナ禍の自粛生活の連休中も、日本全国で地震がありました。私たちは、いつも災害と隣り合わせの生活を送っているという意識を忘れてはいけません。いざ災害が発生したときに、とるべき行動を日頃から想定し、準備しておかなければなりません。自治会は、自主防災隊を組織し共助としての備えをしています。

## 災害が発生したら....

和合町自主防災隊は、自治会長を隊長とする災害対策本部を浜松市泉小学校グラウンドに設置します。そして、その時にしっかり機能できるように、「防災計画」を作成し、必要な事項を定め、日々活動をしています。

### 【 計画事項 】

- ① 自主防災隊の組織編成及び任務分担に関する事。
- ② 防災知識の普及、啓発に関する事。
- ③ 地域の災害危険に関する事。
- ④ 防災訓練の実施に関する事。
- ⑤ 情報の収集伝達に関する事。
- ⑥ 出火防止及び初期消火に関する事。
- ⑦ 救出・救護に関する事。
- ⑧ 避難誘導に関する事。
- ⑨ 給食、給水に関する事。
- ⑩ 災害時要支援者対策に関する事。
- ⑪ 他組織との連携に関する事。
- ⑫ 防災資材等の整備及び管理に関する事。
- ⑬ 避難所の運営に関する事。

### 【 災害対策本部 】

- ・本部
- ・情報部
- ・消火部
- ・避難誘導部
- ・救護部
- ・物資部
- ・避難所運営部
- ・ポンプ隊

以上の13項目について、円滑な活動ができるよう組織編成をし、各々の任務を具体化し、実際の災害時に迅速かつ確に動けるよう、年に一度 総合防災訓練を実施しています。

また、自主防災隊可搬ポンプ隊は、地元の第8分団の指導を受けながら、権現谷川 三嶋神社東側付近にて、年間6回の訓練を実施しています。

5月16日(日) AM6:30-7:30 ポンプ隊員8名、自治会3役15名、第8分団3名 計26名で今年度、第一回目のポンプ隊訓練を行いました。今回は可搬ポンプ及び消火器の操作についての確認を行いました。(ホームページにて写真公開中です) 筆耕: 防災コーディネータ 松山 美佐

## 非常時の豆知識

災害対策用非常食として乾パンを保管している方が多いと思います。

乾パンの缶には氷砂糖が入っています。なぜ入っているかご存じですか？



ひとつは、糖分を取るためですがこのほかに役目があるのです。乾パンを口に入れて食べてみてください。パサパサしており、水分がないとなかなか飲み込みにくいです。非常時には飲み物が手に入らないという状況も考えられます。氷砂糖を舐めることで唾液の分泌を促すことができ、乾パンが食べやすくなります。口の中に氷砂糖を入れたら、ぼりぼり噛み砕かず、意識して舐めてください。非常時の豆知識でした。

防災隊長補佐 岩瀬 光伸 の「ホット一息しませんか」より